

王喜の郷の輪 第4回  
 チャン カイン チンさん (1/3)  
 (厨房職員)



私は日本語を6ヶ月間、勉強して来日しました。それは挨拶レベルの簡単な文法だけだったので、実際に研修を始めると会社の職員とコミュニケーションをとる時、苦勞をし戸惑う状況でした。指示を受けた時に理解できなくて間違えたことがあります。

ある日、悩んでるところに私の日本語の先生が気づかせてくれました。そして、私にもっと日本語を高めておかないと3年間、日本にいても苦しみと寂しみしか感じられないと励ましてくれました。それで私は仕事が終わってからインターネットで教材を探して独学で勉強を始めるようになりました。

そして休憩時間を利用し勇気を出して分からない事を皆さんに聞いたり話したりすることによって、日本語が少しずつしゃべれるようになりました。それに皆さんも私に優しく日本語を教えてくれたこともあって作業の指示もいつの間にかわかりやすくなりました。⇒次回へつづく

※手書きの原稿(漢字を含む)を  
 チンさんがパソコンで入力しました。

### 「生誕110年 林伊佐緒を語る」

昭和14年、それまでは大手新聞社が国民の意気を鼓舞する歌を一般公募して大々的に発表をしていましたが、大手出版社の講談社が、初めて陸軍省と提携して、講談社の9大雑誌で宣伝し、詞と曲を讀者から一般公募しました。林伊佐緒は、この一般公募に自らが作曲した曲を応募しました。この公募には128, 592件もの応募があり、一等当選曲は林伊佐緒が作曲した「出征兵士を送る歌」に決定しました。一等当選詞は神戸の大丸に勤務していた生田大三郎の応募した歌詞に決定しました。昭和14年、キングレコードは林伊佐緒を含む8名の専属スター歌手を総動員して合唱や独唱などで「出征兵士を送る」をレコーディング、発表しました。また他にも童謡歌手、河村順子が歌唱した子供向けの「出征兵士を送る歌」や軍楽隊の演奏でレコーディングされた行進曲まで発売され、翌15年までに6種が発売されるという講談社が総力をあげた異例の作品となりました。一等当選者には賞金1,500円が贈られ、林伊佐緒は晩年「まだ独身で使いきれなかった。何に使ったかは覚えていないが、おそらく人にご馳走したりしていつの間にか無くなったんだろう」と語っています。(大学卒のサラリーマンの月給が60円の時代)その後も林伊佐緒は募集に自らの作曲を応募し「産業戦士の歌」(昭和15年)、「世紀の若人」(昭和16年)、「十億の進軍」(昭和17年)、「少年兵を送る歌」(昭和19年)と4曲もの作品が一等当選となりました。晩年、林伊佐緒はNHKラジオに出演した際に當時を振り返り「いっちょやってやろうという思いだけだった」と語っています。

昭和16年12月8日の太平洋戦争の勃発により戦火は中国大陸から南の島々まで拡大しました。歌手や踊子、漫才師などで前線への慰問団が結成され、昭和18年7月には林伊佐緒も慰問団に加わり神戸港を出発する事となるのです。(つづく)

没後四十五年 作曲家 古賀政男  
 「丘を越えて」「りんどう峠」「悲しい酒」  
 日時 七月五日(ケアハウス王喜の郷・食堂)十三時三十分～十五時  
 七月二十六日(王喜の郷ミントの家・食堂)十三時三十分～十五時

懐かしいあの時、あの時の思い出が鮮やかに  
 よみがえるコンサートを お楽しみください!

## 昭和レトロコンサート

音楽と語り語るファンタジー  
 GIFT FROM SHOWA



# たんぽぽ通信

7月1日発行 197号  
 ケアハウス王喜の郷 令和5年7月号

Webページ <http://www.ryokujyukai.jp>

### 巻頭言

5月、6月と熱を出される方が続きました。コロナワクチンの第6回目の接種があり、今回は発熱者もなく無事に終わりました。発熱はコロナを疑うことが定着してきました。私どもは抗原抗体検査を行い、マイナスを確認します。今回の発熱はほとんどの皆さんは「脱水」でした。気候の変動で日本も亜熱帯のようになりました。じつと汗ばむことも多くなっています。食事の間に「お茶をする」習慣は健康の維持を考えると大切です。10時、3時のおやつの時間に「お茶」をされませんか? 緑茶やコーヒーは利尿作用もありつらいので、麦茶や草茶のようなものはいかがでしょうか。冷たい麦茶は食堂に常備しております。脱水は命にかかわることもあります。施設長 末谷千秋

### お知らせ

7月6日(木)10:00～ケアハウス食堂にて  
 七夕の短冊書き、飾り付けをおこないます。ぜひ、ご参加ください!

## 7月のお誕生日&行事予定

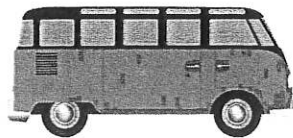
日	月	火	水	木	金	土
30	31					1
2 半夏生	3	4	5 レトロコンサート 小暑	6 10:00～ 七夕飾り付け 13:50～王喜小 リモート交流会(ティ)	7 七夕	8
9	10	11	12 ビューティーヘルパー	13 イズミ行きバス	14	15
16	17 海の日	18	19	20	21	22
23 大暑	24	25 誕生日会	26 レトロコンサート	27 イズミ行きバス	28	29

\*誕生日: お名前記載の方の誕生日です。ささやかなカードとお菓子をプレゼントさせて頂いております。  
 \*\*ビューティーヘルパー: 出張の理美容です。食堂白板に申込みを貼っています。ご記名ください。  
 \*\*\*イズミ行き: 午後1時出発、2時半頃帰着。長府ゆめタウンへの買い物バスです。(月に2回)  
 \*\*\*\*レトロコンサート: 午後1時半～3時 昔懐かしいレコードやビデオを観たり、歌ったりお茶もあります。  
 ☆第1水曜日はケアハウス食堂・第4水曜日は隣のミントの家。同じ内容です。参加費300円  
 \*\*\*\*\*なの会はお休みさせていただきます。

ミントの家 山根 徹

## ケアハウス王喜の郷

梅雨の最中、蒸し暑い日が続いています。  
水分をしっかり摂りましょうね。  
先月から、イズミ行きが復活しました。  
ご利用された方は、お買い物を楽しまれたでしょうか？  
また、初めての試みで数時間のドライブを実施いたしました。  
バスハイクのように1日出掛ける形式ではありません。  
少しの時間ならお出掛けしてみたいなという方を対象に  
今回は、彦島の老の山公園から彦島大橋を経由しての  
ドライブでした。  
車窓から海や山々の緑を眺めながらの2時間程度のお出掛けに皆様、楽しんで頂けたでしょうか？



介護職員 中村 ひふみ

## ケアハウス王喜の郷(厨房)

梅雨、真っ盛りですね。  
ジメジメしたこの蒸し暑さの中、体も気分も減入って  
しまいます。  
厨房としてもこの季節は特に食中毒のことで気を  
配らなくてはなりません。  
さて、梅雨の名前の由来ですがこの時期に梅の実が  
大きく育つことから、梅雨(ばいう)と呼ばれています。  
梅を塩漬けにすると梅干しに、梅と氷砂糖を交互に  
しき詰め、ホワイトリカーを注げば梅酒に。  
梅干しは、食欲増進や血糖値の上昇をゆるやかに  
するなど、健康によい成分をたくさん含んでいます。  
塩分の取りすぎに留意する必要があるため、  
玄米がゆに入れたり、梅ゼリーにしたりと、  
時々、献立にとり入れています。



厨房 水嶋 麻里

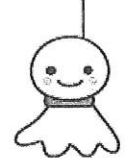
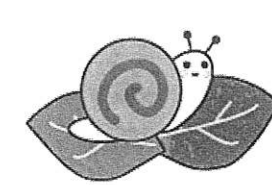
## 王喜の郷デイサービスセンター

もうすぐ梅雨が終わり、本格的な夏が始まります。  
デイサービスでは、7月7日の七夕に向けて笹に  
つるす飾りを、利用者の皆さんと一緒に七夕の思い出  
などを話しながら作っています。  
願い事も書いて頂けたら一緒に飾りますので、  
とっておきの願い事を考えて下さい。  
ちなみに私の願い事はたくさんあり過ぎて、まだ、  
決めかねていますが、私が何を書いたのか  
デイサービスに来て探してみてくださいね。  
7月は、王喜小学校の4年生の児童の皆さんとの  
交流会や誕生会などの行事も予定していますので、  
楽しみにされてください。  
まだ天候の変化が大きく、蒸し暑い日が続きますが、  
体調に気をつけられて元気にお過ごしください。

介護職員 岡 幸恵

## グループホーム王喜の郷

6月は雨が少なく、外気浴へ出られる日が多くありま  
した。皆さんも「雨が降らんね。」「風が吹くと気持ち  
が  
良いね。」と言われていました。  
庭に出ると、「何か咲いているけど、これは何やろう  
ね。」と話も弾みます。職員が「これはびわですよ。」  
と伝えると、「お昼にたくさん出ると良いね。」と返事が  
あり、とても和やかな時間が過ごせています。  
梅雨が明けると、本格的な暑さになるため、水分補給  
をこまめに行い、温度管理や環境を整えて、皆さん  
が体調を崩されないようしっかり介護を行って行きます。



介護職員 梅田 美樹

## 王喜の郷居宅介護支援センター

東部地域☆ケアマネ連絡会が3ヶ月に1回開催され、  
介護支援専門員が集まり、勉強会や事例検討を行っ  
ています。(☆東部地域とは王喜、吉田、小月、清末、王司)  
令和5年6月はコンビニエンスストアの方が参加  
され、「高齢者への地域支援と介護の連携について」  
の事例を学びました。安全・安心なまちづくりに協力  
の取り組みをお聞きしました。従業員の方が利用されて  
いる方を気にかけて下さり、声を掛けたり、自治会や  
警察等と連携して、対応されていることが分かりました。  
私たちは地域の社会資源を活用できるよう、日頃  
から情報を収集し、地域の方の協力を求めることが  
できる関係をつくり、住み慣れた地域で生活が送れ  
るように支援の輪を広げて行きたいと思えます。

主任介護支援専門員 野平 千加子

## 王喜の郷ホームヘルプステーションいるか

6月13日より訪問介護員として入社いたしました  
山田朋子です。  
今まで経験したことの無い支援内容や利用者の方  
との接し方等、諸先輩方から教えていただきながら  
業務を行っています。利用者の方とコミュニケーションが  
スムーズに図れるように、また利用者の方一人ひとりの  
訪問内容を早く覚えて支援が行なえるように努力して  
まいります。  
まだまだ、分からないことが沢山ありますが、利用者の方  
に必要なサービスが提供できるように少しでも早く  
色々な事を覚えていきたいと思えます。  
よろしく願いいたします。



訪問介護員 山田 朋子

## 王喜の郷ミントの家 シニアハウス王喜の郷

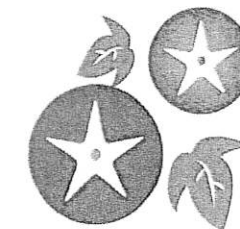
「新しい朝が来た、希望の朝だ。喜びに胸を開け  
大空あおげ……………それ1・2・3」  
の歌から始まり、毎日午前午後、ラジオ体操・リズム  
体操を行っています。続いてのレクリエーションでは  
クイズや頭の体操、ことわざかるたでは始まりを読み  
そのあとの言葉を答えてもらっています。  
日本地図を利用者の方と作り、県名当てクイズをす  
ると「行ったことがある」「子供が住んでる」と話が広  
がります。  
これからますます暑くなっていますが夏に負けな  
いよう利用者の皆さんも職員も健康管理に気を配り  
体調を崩すことなく元気に過ごしましょう。



介護職員 村上 幸美

## 放課後等デイサービス さくら

さくらで植えたオクラが収穫時を迎え、先日子ども達に  
収穫をしてもらいました。  
初めて軍手を着ける子は、手の甲の部分を下にと  
上下を逆に着けていたりと微笑ましい姿が見られました。  
もうすぐ夏休みが始まります。  
さくらでは今年もプールや夏祭りイベントを考えています。  
子ども達が見せてくれる色々な表情や反応を今から  
楽しみにしています。  
暑さに負けず、元気に外で遊ぶ姿を見て、職員も  
夏バテしないようにして頑張っ乗り越えたいと思えます。



さくら支援員 塩谷 一雅